令和３年９月３日

各高等学校長　様

　　　　　　　　　　　　　　　　　 　新潟県卓球連盟会長　渡邊　實

　　 　　　　　　　　　　　 　 　　　　　 ［公印略］

　　　　　令和　３　年度

　　　　　新　潟　県　高　等　学　校　選　抜　卓　球　大　会

　　　　　兼　北信越高等学校選抜卓球大会新潟県予選会の開催について

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（案内、及びお願い）

　標記大会を別紙大会実施要項により開催しますので、貴校生徒及び関係職員の参加について、ご配意くださるようお願い致します。

記

　　　同封書類　　１　大会実施要項　　　　　１部

　　　　　　　　　２　大会参加申込書　　　　１部

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　以上

　　　　 令和３年度

　　　　 新潟県高等学校選抜卓球大会

　　　　 兼　北信越高等学校選抜卓球大会新潟県予選会実施要項

１　主　　催　新潟県卓球連盟

２　共　　催　新潟県高等学校体育連盟

３　主　　管　新潟県卓球連盟新潟支部・高校委員会、新潟地区高等学校

　　　　　　 　主管代表：県立新潟西高等学校　　担当　難波　正浩

 　　　　　　　〒 950-2157　新潟市西区内野西が丘3丁目24番1号

 　　　　 025-262-1561 　Fax 025-261-3902

４　種　　目　学校対抗・シングルス

５　日 程 １１月２２日（月）開会式(8:30～) 学校対抗　(9:00～)

１１月２３日（祝火）開始式(8:30～) シングルス (9:00～)

＊開門(7:30)＊受付(7:30～8:20)

＊学校対抗一回戦のオーダー提出・交換(8:25)

二回戦以降のオーダー提出・交換（対戦校決定後５分以内）

６　会　　場 亀田総合体育館

　 〒950-0144　新潟市江南区茅野山3-1-13　  025-381-1222

７　競技規則 現行の「日本卓球ルール」と以下を併用する。

 (1) ゼッケンは今年度のものとする。

 (2) 休憩は１分以内とする。

 (3) シングルスのアドバイザーはベスト16(ベスト8決定)より認める。

 (4) 監督並びに引率責任者は学校長が認めた別記の者

８　試 合 球 （財）日卓協公認・硬式白４０mmスリースタープラスチックボール

９　競技方法 ［学校対抗］トーナメント

 　 (1) 選手は４～８名として補欠は認めない。

 　 　 (2) 勝敗は次の順序(４～５名編成)で、３点先取とする。

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 順序 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | Sはシングルス |
| 種別 | S | S | Ｄ | S | S | Ｄはダブルス |
| １・２番の２人だけでダブルスを組んではいけない。シングルスはすべて異なる選手とする。 |
| 外国人留学生は１試合につき1名が1回のみ出場できる。　　　 |

［シングルス］トーナメント方式

 ＊ 学校対抗・シングルスとも、全て５ゲームスマッチで行う。

10　参加資格　(1)［学校対抗］［シングルス］とも地区予選を通過した下表の学校及び選手。

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 地 | 　 | 　 | 新潟 | 下越 | 中越 | 上越 | 佐渡 | 計 |
| 区 | 学校対抗 | 男子 | 5 | 3 | 6 | 5 | 1 | 20 |
| 代 | 女子 | 5 | 3 | 7 | 4 | 1 | 20 |
| 表 | シングルス | 男子 | 20 | 16 | 26 | 20 | 3 | 85 |
| 数 | 女子 | 22 | 16 | 28 | 16 | 3 | 85 |

　　　　　　　　　※各地区の県総体・県選抜への参加数は、平成７年度より、過去３年間の

 　春季地区大会への参加実績により、毎年見直すことになった。

　　　　　　　　　　　　　　　令和３年度の数はコロナウィルスの拡大防止のため考えられた数であり

　　　　　　　　　　　　　　　このまま継続する数ではない。(感染拡大状況により考慮する)

　　　　　　　(2) 学校教育法第一条に規定する高等学校に在籍する生徒であること。

　　　　　　　(2) 前述外の生徒の出場は、県高体連の規定による。

　　　　　　　(3) 最高学年を除く。平成１５年(２００３年)４月２日以降に生まれた者。

　　　　　　　(4) 同一学年での出場は１回限りで、在学中の出場は２回限り。

　　　　　　　(5) 転校後６か月未満の者は参加を認めない。(外国人留学生もこれに準ずる)

　　　　　　　(2) 但し、一家転住等やむを得ない場合は、許可されることもある。

　　　　　　　(6) チーム編成で、全・定・通課程の生徒による混成は認めない。

　　　　　　　(7) 当該年度（公財）日本卓球協会に登録した監督・コーチ・選手であること。

　　　　　　　(8) 出場する選手は、予め健康診断を受け、学校長の承認を得ること。

 (2) 校長、顧問は参加者の日常の健康観察を充分行い、定期健康診断等により、

 　　　　　(2) 健康状態を的確に把握し、その結果に基づいて、大会への参加を決定する

　　　　　　　(2) ようにしてください。

11　参加申込 ・各学校は所定の用紙で地区大会最終日までに地区代表へ申し込むこと。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 地区代表 | 新潟 | 下越 | 中越 | 上越 | 佐渡 |
| 難波正浩 | 水田浩由 | 鈴木渉 | 大瀧研司 | 渋谷剛 |
| (新潟西) | (新発田中央) | (十日町) | (新井) | (佐渡総合) |

・各地区代表は令和元年１１月５日（木）必着で下記にメール添付で送付ください。

 　　　　(送付先) 〒 950-2157　新潟市西区内野西が丘3－24－1

 　　　新潟西高等学校　難波　正浩

　　　　　　　　　　　　　　　　　mail:　namba.masahiro@nein.ed.jp

12 参 加 料　学校対抗１チーム６,０００円。シングルス１人１,０００円。

　　　　　　　参加申込み時に納入すること。

13　表 　彰　・全種目とも１～３位を表彰する。（３位は２校または２名）

14　宿　 泊　・原則宿泊はしない。佐渡市内の学校及び会場までの移動距離が概ね100km以上となる学校で、宿泊が必要な場合は各自で旅館ホテルに申し込むこと。その場合、原則としてシングルルームとすること。

15　そ の 他 (1) メンバー変更は原則として認めない。但し、［学校対抗］は病気・怪我の時に医師の

 診断書を、退部の時に学校長の証明書を添えて、受付時に届け出た場合は考慮さ

 れる。

　　　　　 　(2) 昨年度優勝校･優勝者は優勝旗･優勝杯を当日ご持参ください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 令和２年度優勝 | 学校対抗 | シングルス |
| 男　　子 | 新潟産大附 | 関　友喜(開志国際) |
| 女　　子 | 開志国際 | 児玉　彩乃(開志国際) |

 (3) ①学校対抗の男女上位各３校を北信越選抜大会に推薦する。

 ②次の条件を満たした、シングルス男女最上位各１名を全国選抜大会に推薦し

　　 　　　　　　 次の４名を北信越選抜大会に推薦する。

　　　 　　　　　 条件Ａ：上記①を除く学校の選手。( ①・②は全て別学校の選手 )

　　　　 　　　　 条件Ｂ：過去に、全日本(一般・ジュニア・ダブルス)・

国体(ブロック大会を含む・予備登録選手も含む)・

全国高校総体および全国選抜の、団体または個人戦

にエントリーした者を除く。

( 北信越代表は、北信越関係の大会にエントリーした者も除く。)

　　　　　　　 　※ 北信越選抜大会は、Ｒ３．12/17(金)～12/19(日)[開会式12/17]

　　　　　　　　 　　　　　　　　　　長野県長野市ホワイトリングで行われる。

　　　　　 　　 　※ 全国選抜大会は、Ｒ４．３/１９(土)～３/２１(月)[開会式３/１８]

　　　　　　 　　　　　　　栃木県宇都宮市「日環アリーナ栃木」で行われる。

 ③今大会における１年生の男女シングルス上位者は、北信越１年生選抜卓球大会兼合宿錬成会に推薦する。別紙５参照

　　　　　　　　　　(1年生が上位者にいない場合決定戦もありうる)

 　※１年生選抜卓球大会兼合宿錬成会は、Ｒ４．２/１１(金)～１３(日)

　　　　　　　　　新潟県妙高市はねうまアリーナ(妙高市総合体育館)で行われる予定である。

　　　　　　　　 ◎過去に外国人留学生を除く高校生シングルス男女最上位各１名を全国選抜新人合宿に推薦していたが、今年度も県新人大会にて決定する。

　　　　　　　　 　　Ｒ３．12/３(金)～12/５(日)[集合12/３]

　　　　　　　　 　「ＹＭＩＴアリーナ(滋賀県草津市)」 (今年度９月中に可否決定予定)

　　　　 　　 (4) 審判は原則として敗者審判とする。

 　　　　　　　 但し、学校対抗戦は、原則として、相互審判。

　 　　　　　　 シングルス１回戦は別に係より依頼する。

　　 　　　　　 公認審判員には随時審判をしてもらうことが出来る。

　　　 　　　(5) 接着剤の使用は、(公財)日本卓球協会の指示に従うこと。

16　感染防止策

　　　別紙「（様式１）感染防止基本計画書による。

17　別 記 注　(1) 引率責任者について

　　　 　　 ・校長が認める当該校の教員とする。

 ・県立高校では、個人種目の場合、校長が認める他の県立高等学校の教員でも

　　　　　　　　　よい。

　　　 (2) 監督・コーチ等について

 ・監督、コーチ等は、学校長が認めた指導者とする。

　　　　　　　 但し、その指導者が外部の者である場合には、外部指導者申請書を提出し、必ず

　　　　　　　　　傷害・賠償責任保険（スポーツ安全保健等）に加入すること。また、当該校以外の

高校教職員はアドバイザーになれない。

 (3) 注意事項

　　　　　　 ・教員とは、校長、副校長、教頭、教諭、常勤講師をいう。

　　　　　　 ・教員以外の者が単独で生徒を引率することは認めないが、実習助手については

　　　　　　　　　担当教員が引率できない場合に、単独で生徒を引率することができるものとする。

　　　　　　　　　但し、これが恒常的な状態にならないよう留意すること。

　　　　　　　　　　(４) 今後、新型コロナウイルス感染症の発生状況によって、変更となる場合がある。